

令和2年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol.39 令和3年3月31日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号 078-924-9155 ファクシミリ078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

みなさま、こんにちは！くらし部会です。

2020年度の地域自立支援協議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、ほとんど活動出来ないまま1年が経過してしまいました。そのような中、3月10日に開催したくらし部会本会議について、部会長の鳥居健一さんよりご報告いただきます。

約1年ぶりの開催となった「くらし部会」。

その形はパソコンの画面越しという今まで体験したことがないような形での開催となりました。しかし各分野で働く方たちと、この間の対応や困りごとを共有する中で、自分たちだけではなかったという安堵感を得ることが出来ました。

また、誰のためのくらし部会なのか？という事を改めて考える機会にもなり、これからは「当事者目線」での活動が大きなテーマとなってくることを確認することが出来ました。

当事者からの「家族が新型コロナウイルスに感染し介護者不在となった場合、私は一体どうしたらいいですか？」「介護者不在となっても困らなくていいように、今何をしておけばいいですか？」という問いに対して、私たちは今後何を伝えることが出来るのでしょうか。重度障害者にとって、介護者不在となる状態は「家族が居なくなった将来の自分の暮らし」と直結してくる大きな問題です。今回の新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な機関から寄せられた声を聴くことで、「重度障害者の地域での暮らしは、家族の

支えによって成り立っている」ことを実感しました。そのことに対して当事者はどう思っているのでしょうか？私たちは当事者目線で考えた答えが出せるのでしょうか？これは地域全体に鳴らされた警鐘であるかもしれないのです。



オンライン会議に
臨む鳥居部会長

